

公共交通の既存ストック最大活用・組み合わせによる

「地域生活圏」⇔「都心」間のネットワーク強化

～「いつでも」「誰でも」「気軽に」都心を往来できる公共交通の実現～

- ・モードの異なる鉄道・バスを協調させ、「足し算」の関係へ（「競合」から「協調」へ）

→複数の公共交通サービスを最適に組み合わせ「富山型MaaS構想」の先行事例へ

〔富山型MaaS構想〕

- ・モードの異なる公共交通機関を一つのサービスにとらえ、相互にサービス向上を図るとともに、乗換障壁を最大限取り除く（共通運賃、共通ICカードによる精算、接続改善等）ことにより、目的地に応じた最適な公共交通機関の組み合わせが可能な環境を整備し、「誰もが歩いて暮らせる」まちの実現を図る。

※施策の具現化と、課題解決による地域活性化の推進には、関係機関相互の連携強化と適切な役割分担が必要であり、将来ビジョンの共有が不可欠